

二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスの排出削減を目指す優れた取り組みを表彰する第4回カーボン・オフセット大賞の表彰式が12日、東京都内であり、諫早市の住宅メーカー、ヤベホーム(矢部福徳社長)が優秀賞を受賞した。

カーボン・オフセットは、企業などが温室効果ガスの排出削減に努めた上で、どうしても排出する分をお金に換算し、吸収量を増やす事業に投資することで相殺する取り組み。同社は国の排出量取引制度を活

CO₂排出削減に貢献

ヤベホーム(諫早)優秀賞



表彰式後の記念撮影に加わる矢部社長(後列中央)
=東京都江東区、東京ビッグサイト

用し、年16棟を上限に住宅の完成後、施主が1年間暮らす排出分を森林保有企業に支払う試みを今年から始めた。

同大賞は約70の企業、自治体などでつくるカーボン・オフセット推進ネットワークが主催。50件の応募があり、優秀賞は環境、経済産業、農林水産の各大臣賞(各1件)に次ぐ3件が受賞した。表彰式に出席した矢部社長は「住宅建築におけるカーボン・オフセットの取り組みを全国に広げたい」と話した。(山口恭祐)